

令和4年度 小樽市行政評価有識者会議 第1回会議 議事録

日 時 : 令和4年6月24日(金) 15:00~16:45
場 所 : 小樽市役所 別館3階 議会第一応接室
出席委員 : 会長以下5名(2名欠席)

◆開会

<総務部企画政策室長より委嘱状を交付>
<総務部企画政策室長より挨拶>
<出席委員の自己紹介>

◆協議事項(1)

<会長及び副会長の選任>
委員の互選により会長及び副会長を選任

◆協議事項(2)

<会議の進め方等について>
(事務局から説明)

(A委員)

男女共同参画課で昨年取ったアンケート(2-6 男女共同参画社会の小施策(1)の指標数値の確認元となるアンケート)の回答率が結構低い。確か去年のアンケートは30%くらいだったが、30%のアンケート結果で評価できるかという問題もあるかなと思う。

(B委員)

回答率をどう上げるかというのも一つの検討項目で、それにより基準値や評価も変わってくると思う。

(会長)

今御指摘のあったところは、この会議の点検結果のときに、もっと回答率が高まるような工夫が必要だと意見することはできるかと思う。

(C委員)

6-1 社会教育のところで、文学館・美術館の入館者数あるいは博物館の入館者数について、人口が減ったときに14万の目標値の設定でいいのだろうかと思う。

(A委員)

必ずしも住んでいる市民が行くとは限らないのではないか。フェリーで着いたお客さんたち、外国の人は、わりとその土地の美術館とか博物館とかを見たがる。小樽の場合、月曜日が休みとか、やってなかったりして行っても見られなかったということもあるかもしれないけれど。人口も考えなきゃいけないけど、必ずしも美術館とか博物館の入館者数というのは、人口とイコールではないと思う。

(事務局)

人口の観点から申し上げると、総合計画そのものでも人口減少を問題として取り扱っており、ある程度人口が減少していくという前提の上で、指標の数値が考えられていると思う。

(会長)

進め方としては、第2回、第3回で点検し、第4回で点検結果を取りまとめた報告書内容を確認すること、また、点検対象の施策としては、D評価の3施策とC評価の中から3施策を選ぶということで、よろしいか。

(委員一同了承)

◆協議事項(3)

<施策の選定について>

(事務局から説明)

(会長)

各委員へのアンケート結果を踏まえて、C評価の中からどれを3つ選択するかであるが、第1希望が何人いるかを見ると2-1 地域福祉と、3-4 工業・企業立地は入るのかなという感じがする。

地域福祉はどう考えても採用という感じかと思うが、あと2つは、高齢者福祉、工業・企業立地、交通の中から2つ選ぶとことになるだろうか。

(B委員)

地域福祉と高齢者福祉の2つは、問題的、議題的には一緒である感じがする。それであれば、どちらか選んでもらって、分けたほうが良いのではないか。

(C委員)

地域福祉でよろしいかと思う。ただ、小項目を見ると、必ずしも地域福祉と高齢者福祉の項目で、同じような話が出ているなというわけではない。もし両方やるとしても、それなりに議論になるとは思いますが、一方、総合計画の項目別という観点から、分野が重複するのはいかながなものかという御意見には賛同する。

(会長)

そうすると、地域福祉と工業・企業立地と、もう一つは交通か雇用・労働のどちらかになるだろうか。

(C委員)

工業・企業立地と雇用・労働がテーマ3ということで重複するのであれば、交通は別分野と言えるのではないか。

(会長)

しかも、交通は高齢者福祉にも関係してくるかもしれない。今御指摘あったように、確かに工業・企業立地と雇用労働は近い部分があるので、2-1 地域福祉、3-4 工業・企業立地、4-6 交通、この3つを選ぶということではよろしいか。

(委員一同了承)

<2回目以降の点検の進め方等について>

(事務局から説明)

(会長)

6 施策を点検するということが、場合によっては、6 つまでできないという状態になるかもしれないため、C の3 施策の中で順位をつけて、一番下の施策は外れてしまう可能性があるというかたちで進めることとし、まずCの中で最初に2-1 地域福祉を点検、その次に3-4 工業・企業立地を点検という順番でよろしいか。

(委員一同了承)

以 上